

大人も子どもも芸術の秋を楽しむ

長島町小・中学校音楽発表会



川床小学校全校児童 78 人による合奏



各学校の先生らによるサプライズ合奏



全体合唱で「まっかな秋」を歌う児童生徒

長島町小・中学校音楽発表会

11月7日、長島町文化ホールで第7回長島町小・中学校音楽発表会が開催されました。

この発表会は、日ごろの音楽活動の成果を発表する機会を設けることで、音楽を愛好し、人間性豊かな児童、生徒を育み、音楽感覚と技能の向上を図ることを目的として実施されています。

この日は、町内の小学校11校と中学校5校の計16校から、児童、生徒約600人が参加し、学校ごとに趣向を凝らした合唱や合奏などを披露しました。

午前の部で1番目に登場した平尾小学校の3・4年生27人は、指揮者の先生にあわせ「カントリーロード」と「ハナミズキ」を合奏と合唱で楽しく元気に披露。今年度で閉校となる獅子島小学校全児童12人は「不知火の響き」の曲目で竹太鼓を演奏し、竹の響いで観客を魅了しました。

午後からの出番となった長島中学校の全校生徒87人は、「自由への賛歌」と「さくら

草」を大編成のコーラスで歌い上げ、会場からたくさん拍手が送られました。

午前と午後に分かれて行われたそれぞれの最後には、芸術の秋にふさわしい「まっかな秋」の全体合唱があり、会場内は児童、生徒の歌声が響きわたりました。

講評で霧島国際音楽ホールの坂下修事業課長は「どの学校もこれまでの練習の成果が発揮できていて感動した。この日まで練習してきたことを忘れず、これからもなんでも挑戦してほしい」とエールを送りました。

鷹巣小学校4年の桐野絢花さんは「1カ月前から練習をはじめ、高い声を出すこととハーモニーが難しかった。今日は、はつきり歌うことを心がけ良くてきた」と笑顔を見せました。

川床中学校3年で指揮を務めた林玲奈さんは「みんなが指揮者を良く見て合わせてくれた。これまでの中で一番上手に歌っていた」と評価しました。